

- 10. 肺静脈隔離後も持続した両肺静脈細動のドライバーの焼灼に成功した 1 例
三石 達也 日本医科大学千葉北総病院

第 1 会場 10:00~11:00

心房細動③

座長 内藤 滋人 群馬県立心臓血管センター循環器内科
静田 聡 京都大学大学院医学研究科循環器内科

演者

- 11. RF アブレーション後の重度右下肺静脈狭窄症に対して肺静脈形成術を施行した 1 例
池田 礼史 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
- 12. 心房細動アブレーション中に著明なヘパリン抵抗性を示したアンチトロンビンⅢ欠損症患者に対し、アルガトロバンを用いた術中抗凝固管理が有用であった症例
康 憲史 宗像水光会総合病院心臓血管センター
- 13. 両側肺静脈隔離後の非肺静脈起源興奮による心房細動誘発に対して、自律神経叢通電を含む後壁隔離が有効であった持続性心房細動の 1 例
木村 光輝 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
- 14. 持続性心房細動に伴う冠動脈微小循環不全の関与が示唆された左室機能不全に拡大肺静脈隔離術が著効した 1 例
高橋 正雄 九州労災病院門司メディカルセンター
- 15. 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の再発率と心房連続刺激による不整脈誘発閾値に関する検討
西脇 修司 田附興風会医学研究所北野病院心臓センター循環器内科

第 1 会場 11:10~12:10

心房細動④

座長 沖重 薫 横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター内科
比嘉 聡 牧港中央病院循環器内科 (不整脈・心不全治療部門)

演者

- 16. 肺静脈の分岐異常を有する症例に対するクライオバルンアブレーションの検討
下條 将史 安城更生病院
- 17. 当院における Hot balloon ablation の初期・長期治療成績の検討
駿河 宗城 広島市立広島市民病院循環器内科
- 18. クライオバルンアブレーション後におけるイベントレコーダーを用いた無症候性心房性不整脈検出についての検討
田坂 浩嗣 倉敷中央病院循環器内科

- 19. 従来のカテーテルでは隔離不能であった左上大静脈遺残 (PLSVC) 起源の心房細動にクライオアブレーションが奏功した 1 例
藤野 紀之 東邦大学大学院医学研究科循環器内科学
- 20. 内視鏡下レーザーアブレーションによる肺静脈隔離術～日本での導入における初回報告～
横山 正明 東京慈恵会医科大学循環器内科

第2会場 8:00～9:00

心房頻拍①

座長 高月 誠司 慶應義塾大学医学部循環器内科
里見 和浩 東京医科大学病院循環器内科

演者

- 21. Ultra-high resolution mapping に加えて詳細な Post pacing interval mapping が頻拍回路の同定に有用であった心房頻拍の 1 例
新井 智之 都立広尾病院
- 22. ヒス束領域での低電位と異常電位を観察し得た ATP 感受性 AT の 1 例
大江 学治 産業医科大学循環器・腎臓内科
- 23. Fractionated potential が頻拍周期および興奮シークエンスの不安定化に関与したと考えられた Maze 手術後の心房頻拍の 1 例
岡松 秀治 済生会熊本病院
- 24. 両心房をそれぞれ旋回する Double Loop Reentry と診断された MAZE 術後の心房頻拍の 1 例
嘉澤 脩一郎 東京医科大学病院不整脈センター
- 25. 最早期興奮部とは異なる部位で焼灼に成功し、心外膜脂肪の関与が考えられた局所興奮型呼吸周期依存性心房頻拍の 2 症例
三室 嶺 日本医科大学付属病院

第2会場 9:00～10:00

心房頻拍②

座長 清水 渉 日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野
小堀 敦志 神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科

演者

- 26. 頻拍周期の変動と activation sequence の alternation を伴った心房頻拍の 1 例
伊藤 光哲 兵庫県立姫路循環器病センター循環器内科
- 27. 僧帽弁輪峡部の完全伝導ブロック作成に、心外膜側伝導路両端心内膜側移行部への通電が必須であった心房頻拍の 1 例
佐藤 慶和 土浦協同病院循環器内科